

新しい幸せを、わかすこと。



凍結による給湯機器の破損(故障)予防のお願い

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。

凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

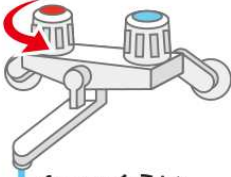
機器は気温が凍結する温度に近くなると、凍結予防ヒーターや循環ポンプの作動などで凍結予防するため、電源プラグを抜かないでください。

給湯機器の器具内の凍結予防ヒーターが、凍結の危険のある気温近くになると自動的に作動します。電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。(運転スイッチ「入・切」に関係なく凍結予防します。)



※給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

給湯栓



4mmくらい

低温注意報が発令されたときや、冷え込みが厳しいときは、給水および給湯配管や給水元栓の凍結を防ぐため以下の通水の処置をしてください。機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

<1> 運転スイッチを「切」にする。

<2> ガス栓を閉める。

※ガス給湯暖房用熱源機をご使用の場合で、不凍液をご使用でない場合は、ガス栓を開いたままにしておいてください。自動的に暖房運転(燃焼)し、暖房回路の水を温め、凍結を予防します。

詳しくはお使いの機種の取扱説明書をご覧ください。

<3> おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく。

※サーモスタット付混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。念のため、約30分後に再度流れる量を確認してください。

※サーモスタット付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、やけど予防のため再使用時の温度設定にご注意ください。

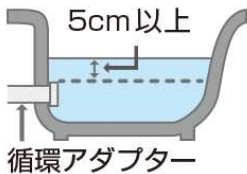
追いただき機能付きふろがまの場合は

追いただき機能付きふろがまのふろ配管を凍結予防するためには、浴槽の水を循環アダプター上部より5cm以上ある状態にしてください。

※ポンプが自動的に浴槽の水を循環させて、凍結を予防します。

(ポンプが運転する音(ウーンという音)がします)

※水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。



5cm以上

循環アダプター

※このページは、お客様の個人情報保護のため、SSL対応しています。

個人情報についてのお問い合わせ先：〒650-0033 神戸市中央区江戸町93 栄光ビル 株式会社 ノーリツ 法務室 個人情報担当

お電話番号：078-391-3361 受付時間：平日9:00～17:00